

第 18 回 JWRC 水道講座のご案内

1. 主催 : 公益財団法人 水道技術研究センター
2. 協力 : Japan-YWP
<http://www.japan-ywp.site/index.html>
3. 日時 : 令和 4 年 12 月 16 日 (金) 14:00~16:00
4. 開催方法 : Web 開催 (Zoom アプリを利用)
5. プログラム (内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 13:30~		
主催者挨拶	(公財) 水道技術研究センター	14:00~14:05
協力者挨拶	Japan-YWP	14:05~14:10
① 浄水処理システムへの膜ろ過技術の応用	国立保健医療科学院 生活環境研究部 水管理研究領域 主任研究官 三好 太郎	14:10~15:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)
(休 憩) 10 分		
② 人口減少下における持続可能な水道・水供給システムを考える	福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科 准教授 清水 聡行	15:10~16:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)

6. 定員 : 200 名
7. 参加対象者 : JWRC 会員、Japan-YWP 会員、水道事業者及び関連団体、学生
8. 参加費 : 無料
9. 申込方法
受講申込書を web ページよりダウンロードいただき、必要事項をご記入の上メール (kouza@jwrc-net.or.jp) にてお申込み下さい。定員になり次第締め切りますので、ご注意下さい。
10. 申込期限 : 令和 4 年 11 月 30 日 (水)
11. その他
 - ・ 新型コロナウイルス感染症等の状況、社会情勢を鑑み、本講座を Web での開催といたします。
 - ・ 単独の団体・所属からの申込者多数となる場合は、参加者数の調整をお願いすることがございます。

【 申込問合せ先 】
(公財) 水道技術研究センター 調査事業部 西崎・中野
TEL : 03-5805-0264
申込先 e-mail : kouza@jwrc-net.or.jp

講師プロフィール

三好 太郎 講師（国立保健医療科学院 生活環境研究部 水管理研究領域）

➤ 略歴

2010年 北海道大学院博士後期課程修了
同年 同大学環境ナノ・バイオ工学研究センター博士研究員
2012年 神戸大学大学院工学研究科特命助教
2016年 前澤工業株式会社 技術開発センター
2020年 国立保健医療科学院主任研究官

➤ 講演にあたっての講師コメント

膜ろ過技術は膜細孔径に応じた厳格な固液分離が可能、設置面積が低減可能、運転の自動化が容易といった利点を有しており、今後、水道の基盤強化に向けて重要な技術的選択肢となることが期待されております。一方で、膜の閉塞による膜透過性能の低下(膜ファウリング)や運転・維持管理コストの高さなどが欠点として広く知られております。

講演では、膜ろ過の特徴を踏まえたうえで、活用拡大に向けて必要と考えられる取り組みについて紹介させていただきます。皆様の浄水処理システム検討の一助となれば幸いです。

清水 聡行 講師（福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科）

➤ 略歴

立命館大学大学院理工学研究科 博士課程後期課程 修了
2010年4月 立命館大学理工学部 環境システム工学科 助手
2012年4月 (社)国際厚生事業団
2014年4月 立命館大学 R-GIRO 専門研究員
2017年4月 立命館大学理工学部 環境システム工学科 特任助教
2018年4月 立命館大学理工学部 環境都市工学科 講師
2022年4月 福山市立大学 都市経営学部 准教授（現職）

➤ 講演にあたっての講師コメント

ご存知のように、水道事業の経営環境は厳しい状況です。今後、長年にわたって人口減少が続くものと想定される中で、持続可能な水道システムとはどのようなもののでしょうか？

これだ！という答えは、誰も持っていません。広域化・広域連携や官民連携などの様々な取り組みが試みられていますが、地域によって抱えている課題も異なり、画一的な解決策を提案することも難しいでしょう。

私自身は実務者でもありませんが、持続可能な水道や水供給について皆さんと一緒に考えることが出来れば幸いです。